

1 心電図検査では何がわかりますか？

心臓は心臓自身から発生する微量の電気信号によって拍動しており、この信号を含む心臓の微小な電気現象を外部から記録したものが心電図です。心電図検査では、心拍動の速さ、整、不整や、心臓の大きさ、虚血性変化（心筋に供給される血液量の不足）の有無、心筋障害の有無と程度などを知ることができます。

検査のはなし vol.11

専門医が教える

検査値異常を指摘された際に考えること ⑳

「心電図で①期外収縮があると言われました。 ②心臓肥大があると言われました」



日本臨床検査専門医会
信岡 祐彦

2 期外収縮があると 言われました

心臓が拍動し血液が駆出されると大動脈の伸展と収縮が起こり、動脈の拍動が生じます。この動脈拍動のことを脈拍と言います。心臓は規則正しく拍動しているので脈拍の間隔は通常一定であり、次にくる脈拍のタイミングは予測できます。ところが、予測よりも早いタイミングで心臓の拍動（収縮）が生じる場合、これを期外収縮—予期されるタイミング外で収縮が生じる—と呼んでいます。期外収縮が生じると、予測よりも早いタイミングで脈拍が触れることになるので、脈は不整となります。

期外収縮は不整脈の中では最も多いものであり、加齢とともに増加するとされ、処置を必要としない、心配のいらぬものがほとんどです。ただし、期外収縮の一部には心筋梗塞や心筋症、弁膜症などの心臓疾患が原因で起きている場合があります。また期外収縮から治療が必要な不整脈や危険な不整脈に移行する場合があります。心電図で期外収縮が見つかった場合は、これらを念頭において、処置をする必要があるかないかの見極めがポイントとなります。

3 心臓肥大があると 言われました

心臓肥大とは、心臓の筋肉が肥大し厚くなっている状態をいいます。心電図で心肥大が認められた場合、肥大の程度と部位、原因となる心・循環器系疾患の有無、心臓肥大によって生じる心臓機能障害の有無と程度を検索する必要があります。

心臓は心房と心室が左右2つずつ、計4つの部屋に分かれており、どの部屋にも肥大は生じ得ますが、心臓肥大といった場合、多くが左心室の肥大（左室肥大）です。左室肥大の原因で最も多いのは高血圧で、その他、心臓弁膜症（とくに大動脈弁狭窄症）、肥大型心筋症などがあります。肥大の程度や肥大による心臓機能障害の有無を知るためには、心臓超音波検査が有力な検査法です。心電図検査のみで左室肥大の所見がみられる場合はあまり心配のいらぬこともあります。心臓肥大と言われたら一度心臓超音波検査を受けることをおすすめします。

